

スマートフォンアプリを作ってみよう

2022年8月5日（金）豊田高専 情報工学科 情報基礎実験室において、情報工学科の教員および学生による公開講座「スマートフォンアプリを作ってみよう」が開催されました。

本講座は、中学生を対象とした講座で、一人一台ずつパソコンとスマートフォンを使用してアプリケーションの作製を行います。午前と午後の2回の講座でそれぞれ10名の定員でしたが、多くの応募者があったため、12名に増員しました。

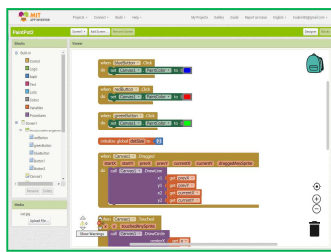
本講座では昨年度と同様にスマートフォンアプリの開発環境としてMIT App Inventorを使います。プログラミングの入門として広く使われているScratchと同じ感覚でアプリを作ることができます。最初に簡単なアプリを作って、使い方を覚えます。その後は少しずついろいろな機能（ボタン操作、色の変更、線の描画、写真撮影など）のプログラムでの作り方を覚えて、アプリに組み込みます。最後に完成したアプリを使って、写真を撮ってお絵かきを楽しみました。また、早く出来た人は新しい機能を追加したり、別のアプリ（バランスボール、ピンポンゲーム）を作ったりしました。

この講座では本校の学生がTA（ティーチングアシスタント）として受講生のサポートを行いました。受講生の中には途中でわからなくなったり、操作をミスしたりする人もいました。そのときはTAがすぐに駆けつけて、アドバイスをしていました。そのおかげもあり、全員が目的とするアプリを作成することができました。

スマートフォンのアプリを作るのは難しいと考えていた受講生たちも、簡単に作ることができて非常に驚いていたようです。この講座で使用した開発環境はブラウザ上で開発できるもので、家でも簡単に作ることができます。帰ってから新しいアプリを作って、自由研究の題材にしている受講生もいることでしょう。



アプリの画面設計



プログラム作製



アプリの作り方の説明



手伝ってくれるTAです



説明を聞きながら作成



真剣に取り組んでいます